

情報コミュニティミーティング in 姫路
—ICTがひらくの場と縁—



岡田 真美子
NPO法人千姫プロジェクト 理事長
NPO法人はりまスマートスクールプロジェクト理事

兵庫県情報局長
長棟健二様のご挨拶

シンポの前に
お昼食

真打の前座
漫才司会
・和崎宏さん
・畑井克彦さん



2005/10/1 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko

● 富山インターネット市民塾の基礎は、昨日今日できたものではないことがわかりました

産学官民協働

● 薬の行商という地域ネットワーク
ワーク産業文化の底力

● IT置き薬
← バカにつける薬

知の循環 還流
市民講師こそよい!

2005/10/1 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko

お品書き

- 常備薬としてのICT
- 方便としてのICT
- こころをつなぐコミュニケーション
- みんなで楽しむ文化
- 日本型ネットワーク
- 堤防は「昼堤」型に

2005/10/1 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko

常備薬としてのICT

- まさかの時の頼り
- セーフティーネット
- 信頼を生むツール
- 顧客と八代二四〇年以上取引した富山の薬売り

「仏様のご利益で病が治り
その結果、自分たちに利益
が与えられる」

2005/10/1 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko

方便としてのICT

- ICTは場と縁を創り出すツール
- マイナスにばかり目をやっているとなにも進まない
- 使えるもの 役に立つもの
うまくいったものを
拾って活かそう

2005/10/1 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko

ここをつなぐコミュニケーション

- 何のための場?
- 何のための縁?
- ↓人をつなぐ ものをつなぐ
- コミで開催(ジョイント)
- 口コミで広げる
- マスコミと協力

2005/10/1 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko

みんなで楽しむ

- みんなとつよにすると何でも楽しいのはなぜ?
- 人の群れ=村を続けてきたのは「楽しみ」
- 「働くだけが人生ではない。みんなで楽しむこと、これは金の力を超えます。みんなで楽しむということこそが文化なのです」

(結城登美雄)

2005/10/1 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko

日本型ネットワーク

- 日本型知のネットワークを継承し再生してゆこう
- 日本型の対話の仕方は向い合つての議論ではなく寄り合い 擦り合う 寄り合い 擦り合う
- 日本型ICTを磨きましよう

2005/10/1 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko

堤防(セキュリティ)は昼堤

- 龍野の昼堤は環境意識に満ちた官民協働のたまものだった!

コンクリート壁を築く計画


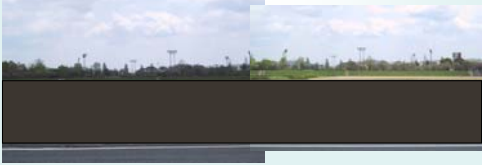
- 川原に出られない
- 美しい川面が隠れる
- 川と暮らしの場が断絶する

- 昭和22年着工 10年がかりで
- 総延長**3133.4m** **全国最長**





普通の堤防 だったら...

堤防は畳堤で

- セキュリティ・・・
- コンクリート堤防でかつちり固めて 肝心の川の景観を殺してしまわない

|| 透明性を高める

- いざというときに住民が畳を持って走る播磨の智

2005/10/1 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko

おさらい

- 常備薬としてのICT
- 方便としてのICT
- **こ**ころをつなぐコミコミ
- みんなで楽しむ文化
- 日本型ネットワーク
- **堤防**は「畳堤」型に

2005/10/1 ©2005 Prof. Dr. OKADA Mamiko

このあとは—
情報知の饗宴(シンポジオン)
おいしい薬膳のレシピが
いっぱいです